

ぴっくす

まちの話題



『カブト虫で はっけよーいのこった!!』

ミニ独立国ハナダ・ラーケ共和国（あいのさと恵誠園）が毎年開催している『カブト虫相撲大会』が、7月20日に大崎町総合体育館で行われ、約1,000人の親子連れが参加し、持ち寄ったカブト虫で勝負しました。

競技種目は、『相撲』、『競歩』、『カくらべ』、『綱わり』があり、『相撲』の部では土俵まわりに子ども達だけでなく、大人も一緒になって声援を送り、会場内は大変な熱気に包まれていました。



『カブト虫もすっきり!』

7月19日(土)、カブト虫相撲大会に合わせて、あすばる大崎前に設置されているカブト虫像の清掃、その名も『水(みっ)じゃび』が行われました。

これを毎年行っているのは、おおさきルネサンス（代表 小屋健二さん）で、この日は子供を含めて17名の方が小雨の降るなか、カブト虫本体の研磨、草払いなどをしました。

『カブト虫』もすっきりしたのでは…



『青少年海外研修出発式』

大崎町では、昨年に引き続き、人材育成基金を活用して、町内に住む高校生を対象に『大崎町青少年海外研修派遣事業』を実施しています。その出発式が、7月18日に役場応接室で行われました。

今回、参加した5名の高校生は、アメリカ・ワシントン州シアトル市へ7月19日に出発し、約1か月間ホームステイをしながら学校に通うことになっています。

写真左から 隈本 宗之さん（志布志高校1年）
上園 佳奈さん（尚志館高校1年）
江口 奈希さん（尚志館高校2年）
佐土原夏美さん（志布志高校2年）
今井めぐみさん（志布志高校2年）